

## 令和 6 年度第 8 回青谷地域振興会議議事概要

日時：令和 7 年 2 月 18 日（木）午後 1 時 30 分～2 時 30 分

会場：青谷町総合支所 第 1， 2 会議室

### 【出席委員】

長谷川和郎、濱江和恵、徳田章人、松下達夫、久野浩太郎、植田 隆、前田幸一、長谷川大之、塩とみ子、松岡礼子、大石剛史、大谷 茜

### 【事務局】

佐々木支所長、田中副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局青谷町分室長）、高野産業建設課長、山田地域振興課課長補佐

### 【日程】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ 長谷川会長
- 3 議題

### 【報告事項】

- (1) 青谷バスのダイヤ改正について (資料 1)

### 【協議事項】

- (1) 地域未来プランおよび実施計画について (資料 2)

- (2) 地域振興未来会議について（意見集約）

### 4 その他

- ・ 令和 7 年度イベント等開催予定状況一覧表 (資料 3)

### 5 閉会

### ≪議事概要≫

#### <報告事項>

#### (1) 青谷バスのダイヤ改正について

事務局より説明

【委員】 2 つ質問です。まず一つ、長和瀬は 6 年生 3 人が卒業ということですが、新入生はいないということですか。それが一点、二つ目は JR の接続の改善ということですが、JR はいつも 3 月にダイヤ改正すると思うんですけど、その辺りはどうなってるのかっていうことを 2 点お願いします。

【事務局】小学校で確認した結果、長和瀬の新入生はいないとのこと。それから JR ダイヤ改正を 3 月に行うのですが、改正後の情報を持ってまして、反映させていただいたというところです。

#### <協議事項>

##### (1) 地域未来プランおよび実施計画について

事務局より説明

【委員】全体の 7 ページのところ、括弧の位置がちょっと気になってまして、1 の地域未来プランの策定趣旨のうち、2 段目の青谷地域においては下のところ、第 1 期青谷地方版総合戦略のところの括弧が第 1 期の後に入ってるんですけども、次のところは第 11 次の前の左側に入ってるので、これでいいのかどうかというのが気になってるところが一つ。二つ目が、同じところの未来プランの下から 2 行目のところですが、「青谷町」特有の課題に対して、って書いてある。「青谷地域」なのか「青谷町」なのかというところで、このところは「青谷町特有」ではなくて、「青谷地域特有」とした方がいいのではないか。

【事務局】ご指摘のとおり修正します。

【委員】委員会全体の 8 ページのところ。括弧 2 の土地利用のところ人口のパーセンテージなんですけど、日置が 15 それから青谷が 40 になってるんですけども、下に住民基本台帳の表が一番下にあるんですが、それを元にちょっと計算してみると、資料 1 の方は 16%青谷が 41%になるのではないかと思います。日置 15.7 と青谷が 41.2 なので、1%違うんじゃないかなと思うところが一点。二つ目ですけど、日置のところの概要の表現として、「因州和紙産業や五本松団地の果樹栽培があります」となってるんですが、私的には「因州和紙産業や果樹栽培を行っている五本松団地があります」じゃないかなと思います。それから中郷のところ。最後が「～がある地区です」って書いてありますが、中郷だけ「地区です」っていう表現になってるので、「市営住宅があります」とした方がいいと思います。

【事務局】ご指摘の通り修正させていただきたいと思います。

【委員】10 ページの方の上の方なんですけど、「当時の痕跡を窺うことが出来ます」と漢字になってるんですが、他は全部ひらがなでできるので、ひらがなにすべきだと思います。変わらして 12 ページ 13 ページ、1 ヶ所ありまして、上から 5 行目のところ、椎茸品評会の前「本町の」って多分青谷町のって意味だと思うんですが、「ほんまち」って呼んでしまう場合があるので、「本地域」とした方が誤解が少ないと思います。

【委員】14 ページ 15 ページ、一番下の伝承文化の保護継承ですが、名称がさっきの 11 ページのところ表の中の名称と違うので、11 ページは「因幡の菖蒲綱引き」となってるし、14 ページの方は無いので、入れた方がいいのか、どうなのか。あわせて日置「の」はねそ踊りなのか、日置はねそ踊りなのか、どっちにするのか統一した方がいいと思います。

【事務局】これらについては、文化財の名前ですので、文化財の名前の方で統一したいと思います。

【委員】17 ページ。下から2行目ですが子どもの「子」がここだけひらがなになってるので、こどもを抱えるファミリーのところ、他は全部漢字になってるのでここは漢字に統一した方がいいと思います。

【委員】18 ページ、県立青谷高校の活性化ですけれども、「統廃合を含めた高校のあり方について検討が始められています」ですが、これは県立高校のあり方であって私立高校は含めてないと思いますので、統廃合を含めて検討については、ここは「県立」を入れた方がいいと思います。それから青谷高校の「地域人材を輩出している重要な学校であると位置づけられています」って書いてあるんですが、私は他の高校より高いっていうのが、本当にバックデータでそうなのかどうかっていう疑問があって、青谷高校が本当に他の高校よりも地域就職率が高いのかどうか、僕はちょっとデータ見てないとわからないです。その次気になったのは、「輩出している」より、「地域を支える重要な学校」というふうに、ただ人を就職に出してるんじゃないくて、やっぱり地域を支えてる本当に大切な学校なんだっていう意味で、「地域を支える重要な学校である」というふうにした方がいいと思います。これは私の意見です。

【委員】続いて卓球の件ですけれど、このプランの中では、卓球を学校の特色として持ち出して本当にこれは学校が考えてるベクトルと一緒にのかって話し合うこと、本当に学校が例えば卓球を第1に持ち上げて特色化を図ってるのかどうかっていうのがちょっとわからないです。しないよりはした方がいいと思うんですが、本当にそれを前面に学校として出したいのかどうかっていうのを、ここに入れちゃっていいのかどうかちょっと思ってる所です。

【事務局】事務局の方では地域人材としてかなりの企業に就職してるっていうのは抑えてるつもりなんですが、表現の方法について検討したいと思います。

【委員】すいません。思いとしては、例えば企業を支えるとか就職だけじゃなくて、やっぱり地域住民との交流だとか、いろんな部分で学校の必要度っていうのが、ただ単に就職の人材だけではなくて、地域活性化も一つですし、それから地域との交流もそうですし、いろんな意味を含めて地域を支えるになるんじゃないかなと思ったところです。

【事務局】それと卓球の方も学校とは先日も協議してるんですが、ちょっと今実際部活として人数がかなり減ったっていうのを伺っておりまして、今そういったことが現実問題としてあるんですが、地域の願望というか、卓球の方で何とか高校の方も行っていただければという地域の思いがあってというふうに言えると思うんです。

【委員】中学校がだいぶ力がついてきてるからね。子どもたちが将来そうあってほしいという意味もあって、これはそういう願いを込めているもの。その人たちが青谷高校に行ってほしいとコーチ達はそういうふうな思いが結構強いようです。

## (2) 地域振興未来会議について（意見集約）

各委員より未来会議に期待することなど意見を述べる

【委員】市からの政策に対しての提言の会議だとは思いますが、一つぐらいは自分たちで題材を作って、何か提案をしてはどうかっていうシーンがあってもいいなと思います。言われたこと善し悪しだけでなく、こっちは何度もはちょっと無理だと思うんですが、一つぐらいは自分たちで出して議論する、そんな会だったらいいんじゃないかなと思います。

【委員】会議にずっと出してもらいましたけど、皆さんの発想が全然僕らより進んでるもので、僕はついていくのがやっとだったんですが、陰ながら応援させていただきます。

【委員】私は防災の仕事をずっとやってたんで防災の観点で話をずっとさせてもらったと思うんですけど、人口減少っていうのはもう災害だという認識で、この計画に文句言うつもりは全くないんですけど、全てがもう災害が起こってるっていう前提で、共助交通って言って、交通だけじゃないんですよね、共助交通の中でも買い物とか何かっていうのも全部含めて考えようとされてる状況ですけれども、買い物だけでなく例えばお医者さんに行くだとかいろんな行動が伴いますよね。で、行くだけでなく先生がこっちに来るとか、そういうトータルで考えていかないと、要するにお互いが助け合う仲間、青谷地域の中に先生とかたくさんいないので、そんなことできるんかよってあるかもしれないですけど、なんかそういう全てのことが人口減少に対応するためにどうしたらいいかというのは、みんなで助け合う事が基本なんだと思うんですけど、でも今コロナの影響で、もう各家庭というか個人がとりあえず優先になってお互いに助け合うっていう風土がもう完全に消えちゃってますよね。そうじゃなくて戦前のようにお互いに助け合うっていうような方向に戻していかないと、それが人口増加とかになるとは限らないかもしれないですけど、そうしていかないと、その地域活性化ってのはないのではないかと。防災って後回しになりがちだと思うんですけども、100年に一度ぐらいしか起こらないことに対してそんなに税金をかけてどうすんだ、という考え方も確かにあるわけではなかなかそこが難しいところだと思いますけれども、まずそういう100年に一度しか起こらないことなんだけども、そこから考えていかないと、地域振興は始まらないんじゃないのかなというのが、私の防災に携わっての思いなので、そういうことが次の未来プランの中にもそういう人たちが多く入ってくれると嬉しいと思います。

【委員】このプランにある町が目指す将来像「いつまでも暮らしたい住んでみたい歴史に彩られた活気と賑わいのあるあふれる町青谷町」というふうな、本当にいいスローガンだと思いますので、私も市の区長会でいろんな話を聞くと、町内会の加入率が7割6割と聞いたりしますので、本当にコミュニティが本当に厳しくなっているのをどうしていくのか、これは町の我々住んでいるこの町内のコミュニティをどうしていくのかっていうのが本当に大きなこれからの課題であり、今防災の話もありましたがそれも大きなことだろうと思います。本当に住んでいて本当にいいまちづくり、そういうふうな話し合いが将来していた

できれば嬉しいかなというふうに思ってます。

【委員】会議をさせてもらおうと、皆さんからすごく活発な多くの意見をいただいたことに対してですね、本当に嬉しいなと思っていて、次の会議をぜひとももう本当にざっくばらんっていう言い方は失礼だと思うが、皆が気兼ねなくね、本当に話し合いができる、そういう会議していただけたら、よろしく。

【委員】私も結構長いこと参加して初めのころは市の方から来られてこういうプランがあります、それを聞いていい・悪いそれだけの会議かなと思いながら過ごしていたのですが、途中から委員提案をしましょう、こんなふうにしてそうした提案をしましょうっていう動きも出たりして。最後の方は、我々委員はそういう提案をしたりして、実際に動くことも大事な役割だということを知ってから、少しやりきれなかった所もありますが、そこは何か個人としては、私はまちのおばさんとして、思ったことを言わせていただいて、いろんな情報をいただいて、とても勉強になりましたので、まちを見る目が変わってきた。あれやこれやって気づくことが多くなったのですが、そういうことをいつも言うんですけれども、みんなができるようなまちがいいな、青谷に住んでよかったなっていう、短所を長所に変えるといえますか。和気あいあいと話をしながら、問題点ばかりでなく、そこを生かしながらいいまちにしようぜって言えるようなまちにしたらいいいんだと思いますので、今度の会議の皆さんは話を聞いていると、いろいろ実践される方も多いようなので、そういう地域になるように、一般市民にも広げていただきながら、情報をいただきたいと思います。

【委員】先ほど言われた今度の未来会議のメンバーの中で何人か知ってる方がいらっちゃって、いい人を選ばれているなってほっとしたところもあります。自分がどうしてきたかっていうと、いや、意見は言うけど、なかなか実行に移せられないものだなっていうことがあります。私あるとき同じ職場の方から、自分たちがやることっていうのは5年10年先を見据えて、それに携わる人材を育てるってことが一番急務だとか言われたことがあったんで、その方に惚れて公民館の仕事を何年も続けたんです。全くその通りで、この会議は退きますけど、何かこんなことどうかなっていうことがありましたら、また一緒にボランティアでもできるような格好がいいんじゃないかなっていうふうに思います。いつまでも暮らしたい住みよい、住んでみたい青谷町っていうのはとても大変な、いろんなことがあると思うんですけど、それこそ5年10年先にそれに一步でも近づくような青谷町になれば素晴らしいんじゃないかなと思いますので、みんなで協力して、これできょうならじゃなしにやっていけたらなっていうふうに思っております。

【委員】この会に初めて出たときは本当に何が何やらでわからなくて緊張の連続でした。でも普段生活していると出会わないような人ですとか、いろんな年代の人とこの会を通して知り合うことができて、いつまでもここで青谷で暮らしたいな住みたいなって思うのに、大事なのっていうのはやっぱりそこに住む人が一番大事なのかなと思って、ここで出会えたそういう人と人との繋がりっていうのをこれから先も大事にしていきたいなというふうに思います。次の会議のメンバーさんだいぶ若返ったのかなって思ったりして、すごく会を開

催されるのが楽しみで、どんなことを話されるのかなどどんなことをされるのかなっていうのをすごく今わくわくしながら期待しております。

【委員】皆さんと一緒に卒業できると思っていたんですが、来期も委員をきっと務めさせていただくであろうと思ってます。今は子育て、子供がちっちゃいで、必死な部分があるんですけど、この会に参加してみて、いろんなご意見を聞くことができて、高齢者に優しいまちであってほしいって委員さんが言った言葉がずっと心に残っていて、いずれはどんな人でも子供でも大人になっていくわけで、そうだよなと思って、子供たちが育てやすい街でもあってほしいけど、高齢者になっても住みよいまちを目指していきたいなと今は思っているところです。前回もお伝えしたように、4月からようこそ館運営するにあたって、そういうお年寄りにも喜んでもらえるというか、元気な町におり、そして町でお金が稼げる、ずっとちょっとそれが目標だったんですけど、何かお金が稼げる時になったらいいなというのを、ずっと野望を抱きつつ、いよいよ実践のときが来たかなと思ってます。メンバーに選ばれて最初は本当に名札を見せ、どこの方だろうって思っていた方もね、違うところでまた出会う知り合いが増えていく喜びだったり、支所の方もどんどんご挨拶していくうちにこういう感じの方なんだなってわかって、いろいろまた知り合いが増えて幸せに思ってます。

【委員】あまりお役には立てなかったんですが無事卒業でき、ありがとうございます。ずっと人口減少という話は出てますけど、流れは止められないかなと思ってます。ある意味青谷町は人口減少最先端の地域、ある意味、なので、いろいろ議論するにしても前例がないからできません、ではなくて、前例ないからこそ第1号じゃなきゃ、他の地域はどんどん人口減少で同じような問題になっていくにあたって、モデルにされるような地域になることができればいいのかなと思います。

【委員】最初の頃は委員提言とかして、どんな会議だろうと思っていたんですけど、結局皆さん今回とかざつくばらんに話して、一番会長がまとめるのが大変だったと思う。あと事務局は、青谷に他地域から来られてそういうのに合わせることにに関して、すごく思ってたやもらったりとかして、作り上げられた会議だったなっていうふうに思ってます。今後皆さんより人口減少とかこれだけの問題とかね交通公共交通の関係とかいろんな問題があるんですけど、やっぱりみんながね、予算がなかなかつかない現状なんで、だから知恵を出して今後ともいい青谷町、住み続けたい青谷町にしていきたいと思います。

#### 4. その他

##### (1) 令和7年度イベント等開催予定状況一覧表について

事務局より説明

【委員】青谷かみじちフェスタ 2025 の分で、ひょっとしたら上寺朗の家族ではないけど、女性が出現できる予定。女性のお披露目と連携してそういう大きな祭りをするのではと思

っております。3月20日にお披露目が予定されているが、それとは別にイベント時にも何か別の企画があるのではと思っている。

【事務局】今ちょうどお話があったんですが、青谷かみじち史跡公園の1周年の記念イベントが実施されるというような情報が入ってしまして、先ほど委員からもありましたように、3月20日にお披露目があるってということと、それから3月23日に様々なマーケットが出るイベントを実施されるということで、実はあおいちの出店者の方も出店を今調整しているというような段階です。もうしばらくしたら多分情報の方もオープンになってくると思います。3月の20日と23日にそういったお話があるということでご承知いただければと思います。

【委員】私は青谷ようこそまつりとさんぽフェスの実行委員会に関わらせていただいているんですけど、ようこそまつりの花火が去年、とっても素敵だった。たくさんの方が青谷に来られたっていう話もあるし、今年はさんぽフェスと同じ日に開催したら朝から晩まで青谷に滞在してもらえないかなっていう考えもあって、ようこそまつり実行委員会の委員長さんにお話して、さんぽフェス同じ日にしてもいいですかっていう相談にOKをいただいているので、多分この二つは同日開催になると、今のところ予定しています。

【委員】これは夜開催ということか。

【委員】昼と夜になるので一日楽しんで欲しい。

【委員】今年は音楽祭の話は無いのか。

【委員】音楽祭はちょっとお金を貯めて、また改めて企画します。

## (2) 青谷かみじち史跡公園について

【委員】この上寺地遺跡が令和11年に完成予定で、今より倍ぐらいの平面で立派なものができるので、来た人が全体を眺める場所がないなと思っている。ちょっと高台みたいな、ぱっと綺麗に眺める場所を、史跡公園の周辺に整備できたらと思う。ちょうど相屋神社が眺望も良い場所ですので、あの付近を古代山陰道も含めて整備すれば観光客もそこに行ってもらえる、一望ができる場所が出来れば、そういうことも頭に置いて運動していきたいと思いますので言っておきます。

【委員】かみじち史跡公園の広場を使いたい、と思った場合はどうすれば良いか。あれば県の管理だと思うが、どうか。地区で運動会をしたいというケースでも大丈夫か。

【委員】いくらでも借りられる。

【委員】料金はどうなっているか。

【事務局】あそこの用地は県と市の共有というか、それぞれ場所によって県有地があったり市があったりするんですけども、一体として史跡公園の方が管理はしております。賑わい広場というところがあります。ちょっと利用料金とかの関係はちょっとよく覚えてませんけれども申請すれば、おそらく使えるようになってるはずですよ。まだそんなに使われているとい

うようなことはありませんけども、前例とか作っていかれたらよろしいのかなというふうに思いますので、いろいろ使ってみていただけたらと思います。

【委員】 営利は有料になると思うので、一度相談してみられたら良い。

以上